



From
Sakai City

To
You

2023	vol. 04
------	---------

Content

**The
GROW**



The GROW

太陽の光をあびて、
季節の風に吹かれて、
時には、虫たちの力を借りて、
作物や果実は成長します。
“旬”のかけ声を待ちわびながら
朝も昼も夜も、寄り添って、工夫して。
今年はどうな顔だろう？
その誇らしい景色を楽しみに、
今日も畑へいざ出発。

坂井市総合政策部企画政策課

2023年 1月 発行

AD・取材・文／佐藤実紀代 (HOSHIDO)®

写 真／酒井 裕子®

デザイン・印刷／株式会社ワタナベ印刷

※一部を除く

【お問い合わせ】

坂井市総合政策部 企画政策課

〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄1-1

TEL.0776-50-3026 FAX.0776-66-2935

[受付時間 8:30～17:15 (土・日・祝日を除く)]

E-mail/ furusato_tax@city.fukui-sakai.lg.jp

<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>

From
Sakai City

サーファーマーのトマトジュース

「アグスさんはバリ島出身で農家でサーファー」と聞いて、南国と波を背負うゆるくてのんびりした雰囲気かと思いきや、「こんなところ見られたらお前何やってんの言われてしまうわ〜笑」と軽快に笑う、テンポの良い関西弁の気のいいお兄さんだった。

元々外資系の会社に勤め、バリバリのビジネスマンだったアグスさんは、金沢での滞在中に知人のいる福井に毎週通い、農業への興味を持つ。40歳であわら市の園芸カレッジに飛び込み、就農を機に福井へ移住。現在で8年目だ。

トマトの他にもメロン、スイカ、モモ、ブルーベリー、とうもろこしなどを育て、ほとんど一人で切り盛りし、自分

でできる範囲ギリギリの規模を保っているという。出荷ピークには朝3時に農園に着いて作業を始め、日がのぼって暗い中でもトマトの姿が見えるようになると収穫。旬のトマトを使った贅沢な「クレイジートマトジュース」は、仕込みから瓶詰めまで全て一人で行っているため、流通も少なく減多にお目にかかれない人気商品だ。

「うち作り方変なんよ。人間が変やから」と笑いながら、それでいて率直な姿勢のアグスさんの話を聞いていると、小さな疑問を常に持ち、作物にとっても自分にとっても不利なことはやらないという潔さがある。トマトに心があるかわからないけれど、心身のバランスがとれた味なのだ。



まるでパンパンになった水風船のようなトマト。かじるとブリッと果汁が弾ける。トマト特有の青臭さもほとんどなく、朝ごはん、おやつにと、いついままでも何個でも食べられる。夏の暑い時にキンキンに冷やすのも美味。



完熟収穫にこだわったトマトジュース！
「クレイジートマト」

寄附金額 **10,000円**

容量
トマトジュース
1本(720ml)



サーファーマー
農園

分析と考察を重ねたアグスさんの語りは説得力を持つ。オリジナルの「クレイジートマトジュース」は売り切れ必須。日に焼けた足に引っ掛けたサンダルが一番バリ島を感じた。最近では全然波乗りできず、サーフボードがその出番を待っている。

From
Sakai City

平島農園のとうもろこし

平島さんは背が高い。スラッと伸びたうしろ姿が、すくすく育ったとうもろこしの畑に入っていくと、そのさらに上をいく葉っぱたちで平島さんは隠れてしまう。腰を屈めて、良さそうなとうもろこしを一本バキッと折る。皮を剥かずとも、皮ごしに触れる凹凸、髭の色や茎の様子でも中身の状態がわかるのだ。その躊躇のない動作が、毎日どれだけ作業をしているかを物語っている。

平島さんが本格的にとうもろこしに着手したのは10年ほど前。現在は坂井市でも畑は一番の広さを誇る。収穫は全部人の手で。一斉収穫のため、旬の時期は毎日8人でフル稼働して、コンテナで160ケースを超えることもある。

口数の少ない平島さんから、「朝採れたやつなんで、そのままじっていいですよ」と勧められ、恐る恐るとうもろこしをかじってみる。歯がキュッと音を立てながら、甘い果汁と穀物の滋味が広がる。まるまる一本を黙々とかじる。こんな味がするんだ！という驚きの体験だ。

手伝いに来ている人たちも平島さんのとうもろこしを楽しみにしていて、近所に配る分も買っていくのだとか。「黒焼きすると水分が抜けて、また違った味わいになるでの。焦げ目がついて香ばしくもなるでイベントで出すと人気あるの」とはにかむ平島さんは、とうもろこしという素材をそのままに味わってほしいという思いに溢れている。

ブリッブリの果実がぎっしり並んだとうもろこし。皮を剥く前に触っただけで中が虫食いかどうか分かるそう。もったいないと思うようなものも間引かれ、平島さんの目に叶ったエリートだけが残っていくのだ。



もろこしやの
朝採りとうもろこし 10本

寄附金額 10,000円

容量
とうもろこし 10本
2Lサイズ 420g ~ 450g



平島農園

笑顔をお願いします！と声をかけたところ、顔をくしゃっとしてくださった照れ屋の平島さん。まるで陸上のトラックのような仕分けのレーン。量りにはふるさと納税で出荷できるように重さの色分けも。ザクッと切ってその場でガブッ！は現地の特権だ。

From
Sakai City

近ちゃんファームの梨

インスタグラムでは既に1.5万人ものフォロワーを持つ美人姉妹の梨園という、未だかつてない情報に若干の緊張感を持って畑に入ったが、日の光にキラキラと反射する大振りの梨の楽園に、さらに度肝を抜かれてしまった。

「完熟してくると、ざらざらした表面がもっとつるんとして黄身がかった色になるんですよ」と丁寧に説明してくれるのは、姉の美香さん。梨園のかたわら経歴を活かして自宅で美容サロンも経営しているが、その謙虚でしなやかな姿勢に驚いてしまう。祖父の代から続く梨園を母が一人で続けようとしたところ、22歳の時に軽い気持ちで手伝おうと姉妹で決めたそう。「勝手に梨が実るもんだと思って

ました笑。でも、当然収穫までには受粉させたり、肥料をやったりいろんなことをしないとイケなくて。手伝っているうちに梨がかわいくなってきちゃいました」とどこまでも朗らかな美香さん。

収穫、梱包、発送、広報、そして梨の加工に至るまで、ほとんど家族で行っている。朝6時には作業をスタートして、夜中までかかることも。「猫の手も借りたい時は小学生の娘にもできそうな仕事を手伝ってもらっています」と明るく照れ笑いするのは妹の孝美さん。彼女も心強い明るいオーラを放っている。この梨の天然のみずみずしさは、きっと天然の美しさを持つ人が育み、届けているのだと確信した。



見渡す限り黄金にきらめく梨の実。木にワイヤーを張り巡らし、収穫しやすいように一定の高さを保っている。他の農園より高くなっているのは「おじいちゃんの背の高さ」だから。近藤さん姉妹の背ではギリギリ届くそう。



近ちゃん梨
食べ比べセット

寄附金額 20,000円

容量
【幸水・豊水】
各 3kg (6～8玉入り)



HP



Instagram
近ちゃん
ふぁーむ

取材班が「かわいい...」と言葉を失うほど美人の近藤さん姉妹。小さな頃から遊び場は梨園で、しょっちゅうセミの抜け殻を集めていたそう。「美梨」と名付けられた梨は生産が追いつかないほどの人気だ。妹の孝美さんの娘は運搬機の上がお気に入りの場所。

From
Sakai City

ふるさと納税 お申し込みの流れ



STEP1 お申し込み方法

以下のいずれかの方法によりお申し込みください。

インターネット

ふるさとチョイス

坂井市 ふるさとチョイス 検索

楽天ふるさと納税

坂井市 楽天ふるさと納税 検索

ふるなび

坂井市 ふるなび 検索

郵便

〒919-0592 坂井県坂井市坂井町下新庄1-1

FAX

0776-66-2935

Eメール

furusato_tax@city.fukui-sakai.lg.jp

インターネット

STEP2 お支払い方法

以下のいずれかの方法によりお支払いください。

ふるさとチョイス	楽天ふるさと納税	ふるなび	寄附申込書
クレジットカード決済			ソフトバンクまとめて支払い
PayPay			PayPal
楽天ペイ			メルペイ
Amazon Pay			Pay-easy
au PAY			ネットバンク支払い
d払い			コンビニ支払い
auかんたん決済			郵便払込

*郵便払込用紙はお申し込みより1週間以内にお送りいたします。

STEP3 寄附金の 使い道の選択

お申し込みの際に選択してください。
寄附金の使い道は随時更新しております。
詳細は「ふるさとチョイス」をご覧ください。

STEP4 返礼品の選択

ポータルサイトより、
お選びください。



寄附金の使い道



【地域資源】
丸岡エリア
まるごと魅力アップ
大作戦

丸岡エリアのおもてなしを強化し、観光資源の魅力を底上げします。

目標額 | 1億円

【男女共同参画】
地場産業「越前織」の
職人不足解消に向けた
越前織PR事業

出生届を提出した方へ越前織の
母子手帳ケースを無料配布
し、越前織のPRを行います。

目標額 | 1,250万円



【自然・環境】
海浜自然公園を
日本海側1番の
アウトドアスポットに！

東尋坊にある三国海浜自然
公園を改修し、日本海側で一
番のアウトドアスポットへと
成長させます。

目標額 | 3億円



【地域資源】
デジタルコンテンツに
よる坂井市の情報発信
強化事業

知育アプリでのデジタルガイ
ドブックの配布および、坂井
市PR動画の制作・配信を行
います。

目標額 | 2,500万円

【産業・観光】
『みんなに元気を
分けてくれ！』
三国花火大会
元気玉事業

三国花火大会で無病息災・悪疫
退散の祈りを込めた花火打ち
上げプログラムを実施します。

目標額 | 4,500万円



【自然・環境】
無電線化による
観光地の景観向上と
環境改善事業

観光地における電線の無電柱
化をおこない、景観向上とカ
ラスの災害対策による環境改
善を行います。

目標額 | 1億円

公募で選ばれた9つの事業。
お申し込みの際にお選びください！



【福祉・健康】
坂井市版 MaaS
～ワクワク楽しい
交通手段を実現！～

最先端アプリの構築や近距離
モビリティの導入など、自由
かつ最適な移動手段を確保し
ます。

目標額 | 1億4,000万円

【産業・観光】
三国港
にぎわい朝市の開催

三国港市場で日曜朝市並びに
三国港産水産物を使用した朝
食食堂を開催します。

目標額 | 1億750万円



【文化・スポーツ】
地域が
ワンチームでつくる
「サンセット音楽フェス」

坂井市の豊かな自然や景観を
活かし、県内初のリゾート型
フェスを開催します。

目標額 | 1億5,000万円



事業報告

未来の世代へ 「ストップ」温暖化実践型事業 ～気候クライシスへのチャレンジ～

グループワークで意見交換をしながら
学びを深める小学生たち

Message

家族と一緒に
できることをしていきたい

環境教育の授業では、地球温暖化の課題を解決するにはどうするか「考える力」を身に付ける勉強をしています。

コツコツ行動することで大きな成果が得られると学んだので、家族と一緒に少しずつできることをしていきたいです。

地球温暖化への意識が変わった

環境教育の授業を受けて、地球温暖化が自分の想像よりもとても進んでいることにビックリしました。

自分で野菜を植えて食べたり、必要のない電気を消したり、自分ができることは何かを意識するようになりました。



茶谷 海琴さん
(小学6年生)



有馬 開成さん
(小学6年生)

坂井市独自の環境教育プログラムを構築し、ワークシートや副読本を作成しました。
令和4年5月から、市内小学校19校の6年生を対象にストップ温暖化対策授業(4単位時間/校)を実施しています。

寄附金活用予定総額

10,550,000円

市場食堂を開催する三国港網元
おかみ会のメンバーと三国港市場
スタッフ。元氣いっぱい笑顔で
お迎えします



事業報告

三国港にぎわい朝市開催事業



Message

三国港っていいところだな、
と感じていただけるよう
頑張りたい

地元の魚屋として三国港朝市で旬の水産物を販売しています。

朝市には農産物や総菜類を扱う出店者もいるので、異業種間のコミュニケーションが生まれています。今後の事業展開に繋がる情報交換や販売の在り方を考える機会をいただけて、私自身朝市への参加を楽しんでいます。

そして何より、地域全体ににぎわいを生むための事業に参加することで、少しでも地域のお役に立てているということが、とてもうれしく、誇らしく思います。

これからも訪れた皆様に喜んでいただけるよう、この地域ならではの商品を、喜ばれる価格で提供し、坂井市、三国港っていいところだな、と感じていただけるようがんばります！



伊野 魚問屋

伊野 勝博さん (71)

三国港市場で、日曜朝市と三国港の水産物を使った朝食を提供する市場食堂を開催しています。令和4年3月の初開催以降、市内外から延べ23,900人のお客様が来場しました。

寄附金活用予定総額

107,500,000円

事業報告

「三国節のれん」de 三国湊の賑わい創出事業

地域住民に古くから親しまれてきた三国節の歌詞は130種以上。
「ハレ」の日だけでなく、「ケ(日常)」も彩るのれん



三国地区まちづくり協議会
のれん部会 顧問
田邊 信さん(78)

地域のことを想った「寄附 本当にありがたく感じております。全国の皆様からのご支援により誕生したのれんを見に、ぜひ福井県坂井市三国町へお越しください。」

北前船交易で繁栄をみせた三国湊地域は、今も歴史文化が息づく町並みが残るまち。しかし、若年層の流出や高齢化により、だんだん元気がなくなるように感じていました。

「地元住民に元氣を取り戻してほしい」そんな思いで提案したのがこの「三国節のれん」です。まちに溶け込みながら情緒を醸し出すのれんは、地元の方々に大変喜んでいただき、地域への愛着や興味が生まれています。

のれんをきっかけに
まちに新たな賑わいが
生まれてほしい

Message

三国地区まちづくり協議会が地域の賑わいを創出しようと、三国節の歌詞をデザインしたのれん10種類を合計100枚制作しました。

寄附金活用予定総額
3,850,000円

The THANKs

ご寄附いただき
ありがとうございます

この度は、ふるさと納税による寄附を通じ、坂井市をご支援いただき、誠にありがとうございます。

坂井市では、「ふるさと納税制度」がスタートしました平成20年より、他の自治体とは一線を画した坂井市独自の「寄附市民参画制度」に取り組んでまいりました。

本制度では、寄附金の使い道を市民から募り、その実施決定に至るまで市民の意思を積極的に取り入れるという、全国で唯一の取り組みを行っております。また、寄附者の皆様には、寄附金の使い道をお選びいただくことにより、坂井市政に参画していただいております。

今回、本制度により実現しました事業や市民からの感謝のメッセージなどを広くお伝えしたいという思いと、坂井市へのご支援に対する感謝の気持ちを込めまして、冊子を作成しました。

ぜひ、ご一読いただき、坂井市への愛着をより一層深めていただければ、幸いに存じます。

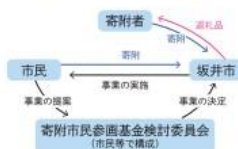
坂井市長
池田 禎孝



寄附市民参画制度とは

寄附金の使い道を選ぶことができるのも、ふるさと納税の大きな魅力のひとつです。坂井市では、市民より寄附金の使い道を募集し、提案いただいた事業案の中から、市民等で構成する寄附市民参画基金検討委員会にて寄附金を募集する事業を決定します。寄附者の皆様には寄附をする際に応援する事業を選んでいただいております。ふるさと納税を通して市政に参画いただいております。

〔 制度イメージ 〕



令和3年度寄附実績

約 93,000 件 約 1,468,500,000 円

平成20年～令和2年度寄附実績

約 141,200 件 約 3,224,800,000 円

総件数 234,200 件

総額 4,693,300,000 円



From
You

To
Sakai City

2023

vol. 04

Content

**The
THANKs**
